



2016. 9. 29

No.62

universe

発行：福島市国際交流協会

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
(福島市定住交流課都市間交流係内)

TEL 024-525-3739 FAX 024-533-5263

E-MAIL: teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

HP : <http://www.f-ifa.jp/>



結・ゆい・フェスタ2016開催

うたいたい♪



Enjoy!



踊りたい!

皆さん、大変ありがとうございました。
来年もよろしくお願
いします!



結・ゆい・フェスタ
担当 赤間 英幸

9月17日(土) A O Z (アオウゼ) で、市民・在住外国人の皆さんが一堂に会する「結・ゆい・フェスタ2016」を開催しました。たくさんの来場者の皆様に、年に一度のお祭りを楽しんでいただくことができました。

会場では、個性豊かな「ブース展示」や「ステージ発表」、世界の料理を堪能できる様々な食べ物の販売など、多くの国際交流団体にフェスティバルを盛り上げていただきました。足を運んでいただいた皆様、参加いただいた国際交流団体の皆さん、本当にありがとうございました。また、市内大学生ボランティアによる運営協力にも感謝申し上げます。

今後も「結・ゆい・フェスタ」開催を通して福島で頑張る団体さん、外国人の皆さんをどんどん紹介していきたいと思っておりますので、更なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。また来年お会いしましょう!!

「結・ゆい・フェスタ2016」の収益金をユニセフへ寄付

ブース展示、世界の屋台村の売り上げの一部を(財)日本ユニセフ協会福島県支部へ寄付させていただきました。来年も「結・ゆい・フェスタ」の開催に向けて、福島市国際交流協会一同、精一杯取り組みたいと考えておりますので、各団体の皆様、関係者の皆様の引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い致します！来場者数：約1,000人
寄付金額：25,005円



▲日本ユニセフ協会福島県支部を訪問しました

福島市生活情報パンフレット(英日版)を作成しました

諸外国の皆様にも、わかりやすい生活ガイドブックを作成しました。福島市や市での生活に関する様々な情報を盛り込んでいます。福島市で安心して楽しい生活を送っていただけるようこのガイドブックをご活用ください。福島市国際交流協会HPからダウンロード可能です。



We produced GUIDE FOR LIVING IN FUKUSHIMA CITY our foreign residents can understand easily.

This Guide contains a wealth of information about living in Fukushima City.

We hope it helps make your life here stress free and enjoyable.

You can get it from Fukushima International Friendship Association web site.

▲GUIDE FOR LIVING IN FUKUSHIMA CITY



<http://www.f-ifa.jp/activity/index.html>

子どもユネスコ教室 開催しました！

私たちと一緒に、様々な活動してみませんか？



福島ユネスコ協会 事務局長 宗川 孝さん

ユネスコ (UNESCO) とはUnited Nations Educational Scientific and Cultural Organizationの略で、日本語で国際連合教育科学文化機関と言います。諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関で1946年に設立しました。福島ユネスコ協会は1980年に設立され現在は約100人の会員や13の学校と共に活動を続けています。

9月24日(土) 蓬莱学習センターで「子どもユネスコ教室」を開催し、蓬莱小学校と蓬莱東小学校の子ども24人が参加しました。初めに子ども達にユネスコについてのお話をした後、フィリピン出身の石川ミルナさんとリン大倉さんにフィリピンのことについて教えていただいたり、フィリピン料理の焼きビーフンや、フルーツサラダを一緒に作りました。最後は蓬莱学習センターの職員の方々にも参加していただき、楽しい昼食交流会を開くことができました。



▲皆で美味しく食べました！



▲リン大倉さん(左)と石川ミルナさん(右)に、フィリピン料理の作り方を教わりました。

福島ユネスコ協会では、街頭募金、子供ユネスコ教室、私の町の宝物絵画展、中央学習センター文化祭、親子健康ウォーキング、地域の文化財巡り、国内と海外の世界遺産について視察、国際理解・交流のつどいなど、ここでは全て語りきれないほど様々な活動を行っています。興味のある方は、福島ユネスコ協会に入会してみたいでしょうか。本会への入会ですが、特別な要件はありません。興味のある方ならどなたでも会員になれます。会費などについては事務局まで、電話またはFAXでお問い合わせください。

事務局：Tel:090-3755-1264 Fax:024-591-1264 (担当 宗川 孝)



The person
from abroad vol.2

Assist-One (アシストワン) 有限会社
取締役 森口 Marianさん



ALOHA~
MAHALO~



初めまして、森口マリアンです。福島に住んで、30年が経ちました！日本に来る前は、Sheraton Waikiki Hotelというハワイのホテル（左写真）で働いていました。現在は、ホノルル福島県人会理事 Liaison Officer（窓口）やNPO法人 三春町国際交流協会理事として、ハワイと日本の架け橋になろうと活動しています。



私が生まれ育ったふるさとハワイは太平洋の真ん中に位置する火山列島で、美しい崖、熱帯性の植物、そしてビーチに恵まれています。過去200年間にハワイが多人種社会へと変貌して行く中で、様々な人種がハワイ文化に刺激を与えました。例を挙げれば、盆ダンスがあります。移民者達によって持ち込まれたもので、6月中旬から8月の終わり迄毎週金曜日と土曜日開催されます。賑やかで、人気のある盆ダンスは福島県からの移民一世によって伝えられた福島音頭です。

東日本大震災後、東北救済のため、アロハイニシャチブのプログラムで約100名の被災者をマウイ島、オアフ島へ招待しました。その後、プログラムレインボーキッズジャパンにも協力し、東北3県から子供達をハワイへ送り出しました。今年の冬からは名称をハワイー東北レインボープロジェクト第一回ハワイ教育旅行と変えて高校生を対象に行きます。直近の活動は、今年9月に行われたもので、私もプログラム・コーディネーターとして、福島県いわき市の福島県立平商業学校のフラダンス愛好会「平商Mahaloa（マハロハ）」の2・3年生18名と一緒にハワイに行きました。学生達はミッドパシフィック学院（高校）、白木屋ジャパン・ヴィレッジ・ウオー、ロイヤル・ハワイアン・センター、アラモアナ・センターステージ、日本総領事館など、様々な場所で震災復興に向けて歩む福島県の姿を世界にアピールすることができました。白木屋では、琉球國祭り太鼓ハワイ支部のグループの人達と出会いました。グループの人達から「福島で、国際交流と盆ダンスを通じて、福島の皆さんを励ましたい。」と仰っていただきました。この思いは正に、「アロハ・スピリット」ですね！



▲ハワイに行った皆との記念写真！



My Fukushima City Life Vol.2
英語指導助手(ALT)
Fiona Stamp

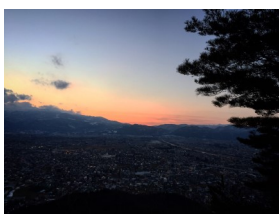


I am proud to
call Fukushima
my home!

私の名前はフィオナ・スタンプです。イングランドの小さな町のエプソムから来ました。エプソムはロンドンからとても近いところにあります。父はイングランド出身で、母はフィリピン出身です。子どもの頃、私は香港とチェコ共和国のプラハに住んでいました。私は大学でフランス語を学び、その後1年間英語のアシスタントティーチャーとしてフランスで過ごしました。私は卒業時、日本に行こうと決めていました。約1年間福島に住んで、福島は世界中でも、私のお気に入りの場所の1つになりました。

私は本当に福島市での暮らしを楽しんでいます。私は市内の小学校と中学校でALTとして働いています。私は自分の仕事が大好きですし、ここで教える子どもたちは、私がこれまでに会った生徒の中で、最も可愛らしくて最も勤勉です。また、私の学校の同僚はとても親しみやすく友好的です。

私が福島で会った皆に同じことが言えます。たくさんの人達が、私が日本に慣れるよう尽くしてくれます。もっとたくさんの人々と話すために、私は日本語を学んでいます。私が福島に来た時、私は日本語が全く話せませんでした。少しずつ理解できるようになり、日本語がうまく話せる日が待ち遠しいです。でも、私が日本語が話せなかった時でさえ、英語を話したいたくさんの方々と会うのは楽しかったです。英会話クラブやESSは、私の福島生活のお気に入りの一つです。何人かの親友ができ、彼らは福島についてたくさんを教えてくださいました。おいしい地元の食べ物を食べたり、瞑想の仕方を習ったり、福島の山でハイキングをしたりと、楽しいことをたくさんしました。彼らのおかげで、私は福島の良いところを沢山知ることができています。



▲お気に入りの信夫山からの景色

福島市では、信夫山がお気に入りです。頂上まで歩いて、足下に広がる福島市の全景を見るのが大好きです。夕焼けの時は特にきれいです。同じ理由で、コラッセビルのスカイラウンジが大好きです。私はよくそこで、勉強したり素晴らしい景色を見たりします。イングランドから福島に人が来るときはいつも、それらの場所に連れて行きます。周りを山々に囲まれ、素晴らしい背景を持つ建物群は十分に評価でき、高いところから見る福島は素晴らしいです。私のお気に入りの季節は、雪が解けて吾妻の雪ウサギが現れる春です。私は福島が故郷だと言えることが誇りです。



10月ふれあいネットワーク事業 「和体験～民家園・広瀬座で行う 着物・日本の作法講座～」



日に日に秋も深まってきましたね。最近では、日本でも着物を着る方が少なくなっています。この機会に着物の着付けや礼儀作法を学んでみませんか？外国の方も古き良き日本の伝統に触れ、異文化交流をしてみましょう。風情ある秋の民家園で素敵な思い出を写真に残してみましよう！

日時：平成 28年10月23日（日） 9：00～14：30

場所：福島駅西口バスプール → 民家園・旧広瀬座

共催：福島市

内容：日本の伝統的な和服を身に着け、着物を着ているときの礼儀作法についてを学びます。記念写真を撮影後、ゆず沢の茶屋に移動して昼食を食べながら交流会を行います。

講師：日本舞踊：福島市伝統文化みらい協会 花柳 沙里樹先生

参加費： 昼食代込 市国際交流協会会員 1,000円
留学生・学生 1,000円
一般参加者 1,500円

昼食：ゆず 沢の茶屋

定員：25名（定員になり次第締切）

申込み：平成28年10月14日（金）までに、
電話(024-525-3739)・FAX(024-533-5263)・
メール(teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp)
で福島市国際交流協会事務局までお申し込みください。

お申し込みの際に、**氏名・住所・電話番号・性別・身長・靴のサイズ、**
をお知らせください。また、当日はタンクトップなどの襟元が見えない
インナーをお持ちください。

お気軽にお申し込み
ください。



やさしいにほんご part.2



私たちが日頃話している日本語を少し簡単に言い換えると、外国人も理解しやすくなります。外国人に伝わる日本語が、「やさしい日本語」です。「やさしい日本語」を使うと、少し日本語ができる外国人なら、どんな言葉を使う外国人ともコミュニケーションが取れます。私たちが新しい外国語を習得することは難しいですが、日本語を「やさしい日本語」に言い換えることは、それほど難しくありません。

福島市は全国でも有数のくだもの産地としても有名で、盆地特有の気候と風土を生かし、初夏のサクランボ、真夏のモモ、秋のナシやブドウ、そして冬の蜜が入ったリンゴなど、四季折々のくだものが生産されています。

↓ やさしくすると・・・

福島市は くだものが 有名です。 夏の サクランボや モモ、 秋の ナシや ブドウ、 冬の リンゴ。
おいしい くだものが たくさん あります。